

学位授与機構ニュース

National Institution for Academic Degrees

第 12 号

平成 9 年 11 月発行



★学位授与機構における調査研究の成果を紀要としてまとめた「学位研究」第 1 号（平成 5 年 3 月発行）から第 6 号（平成 9 年 8 月発行）

目 次

◆学位の申請・授与等の状況

- 平成 9 年度 4 月期の学士の学位授与状況 … 2
- 専攻科の認定申出状況 … 2
- 平成 9 年度 10 月期学位授与申請状況 … 2
- 大学院博士課程相当の課程修了者からの学位授与申請状況 … 3
- 大学院修士課程相当の課程修了者への学位授与状況 … 3

◆機構の窓

- 会議の開催状況 … 3
- 委員の交代 … 4
- 学習情報企画調査研究会開催 … 6
- 「学位研究」第 6 号発行 … 6
- 人事異動 … 6
- ◆科学研究費（国際学術研究）研究会開催 … 6
- ◆すずかけ散策
新任の御挨拶 … 橋本 鉦市 … 7



学位の申請・授与等の状況



○短大・高専卒業者等

254人に学士の学位を授与

－平成9年度4月期申請－

平成9年度4月期に学士の学位授与申請のあった短期大学・高等専門学校卒業者等281人について、関係各専門委員会で行われた修得単位の審査及び学修成果・試験の審査の結果に基づき、平成9年8月25日（月）審査会が開催され、その結果254人が合格となり、平成9年8月26日付けで学士の学位が授与されました。

〈平成9年度4月期申請者及び授与者数〉

専攻分野	専攻の区分	申請者数	授与者数
文 学	英語・英米文学	6人	5人
	独語・独文学	1	1
	歴史学	1	1
	心理学	1	1
	宗 教 学	3	3
教 育 学	教 育 学	15	13
神 学	神 学	3	3
社 会 学	社 会 学	1	1
	社会福祉学	5	4
教 養 学 芸	科学技術研究	1	1
	比較文化	1	1
	国際関係	1	1
法 学	法 学	2	1
経 済 学	経 済 学	7	4
商 学	商 学	2	0
経 営 学	経 営 学	1	1
理 学	数学・情報系	2	2
	物理学・地学系	1	1
看 護 学	看 護 学	89	74
保健衛生学	検査技術科学	31	31
	放射線技術科学	46	45
	理学療法学	20	20
	作業療法学	12	12
鍼 灸 学	鍼 灸 学	1	1
栄 養 学	栄 養 学	5	5
工 学	機 械 工 学	1	1
	電気電子工学	5	5
	情 報 工 学	1	1
	応 用 化 学	3	3

	土 木 工 学	1	1
	建 築 学	1	1
家 政 学	家 政 学	5	4
芸 術 学	音 楽	1	1
	美 術	5	5
合 計		281人	254人

○短期大学・高等専門学校専攻科

平成10年度認定の申出状況

短期大学又は高等専門学校に置かれる専攻科で大学教育に相当する水準を有する等の機構が定める要件を満たすもので、平成10年度認定に係る専攻科の申し出が平成9年9月30日で締め切られ、6専攻分野、14の専攻区分にわたる申し出がありました。

○1,130人から学士の学位授与申請

－短大・高専卒業者等からの

平成9年度10月期申請－

短期大学・高等専門学校卒業者等の学士の学位授与の申請は10月1日（水）から7日（火）まで受付を行い、1,130人から申請があり、昨年同期777人からの大幅な増加となりました。

例年10月期の申請は短期大学・高等専門学校の認定専攻科の修了見込者が含まれるため4月期より多くなります。

平成9年度の申請者総数は4月期の281人と合わせて1,411人（昨年総数991人）となりました。

これは短期大学・高等専門学校からの申し出による毎年の認定専攻科の増加に加え、学位授与機構の学位授与制度の一般への認知の広がりからくるものと思われます。

試験は12月21日（日）に東京・大阪（申請者が申請時に選択）の試験場で小論文試験が行われます。

（専攻分野「芸術学」でレポート以外の学修成果を提出した者の試験は12月14日（日）東京都内で面接試験を実施）

修得単位の審査及び学修成果・試験の結果に基づき、合格者には3月末日までに学士の学位が授与されます。

○16人から博士の学位授与の申請

－大学院博士課程相当の修了者－

大学院の博士課程に相当する教育を行う課程として認定された、防衛医科大学校医学教育部医学研究科の平成9年9月修了者16人から、平成9年9月30日に博士の学位授与の申請がありました。

○99人に修士の学位を授与

－大学院修士課程相当の修了者－

平成9年3月に修士の学位授与申請のあった防衛大学校理工学研究科、職業能力開発大学校研究課程及び水産大学校水産学研究科の修了者合計99人について、理学、工学・芸術工学及び水産学の各専門委員会で論文審査及び試験が行われその結果に基づき、平成9年8月25日（月）審査会が開催され審査の結果、99人全員が合格となり、平成9年9月12日付けで修士の学位が授与されました。

〈認定課程ごとの修士の学位授与者の内訳〉

認定課程名等	専攻分野			
	理学	工学	水産学	計
防衛大学 校 理工学研 究科	電子工学専門	18		18
	航空飛翔工学専門	7		7
	造兵機械工学専門	12		12
	物理工学専門	9		9
	材料工学専門	1	5	6
	地球工学専門	2	2	4
	オペレーションズ ・リサーチ専門		5	5
小計	3	58	61	
職業能力 開発大学 校 研究課程	機 械 専 攻	10		10
	電気・情報専攻	13		13
	建築・造形専攻	5		5
	小計	28		28
水産大学 校 水産学研 究科	水産技術管 理学専攻		2	2
	水産資源管理 利用学専攻		8	8
	小計		10	10
合 計	3	86	10	99

機 構 の 窓

○会議の開催状況

□審査会

第36回 平成9年8月25日（月）

・主な議事項目

- (1) 学位規則第6条第1項に規定する学士の学位授与の審査について
- (2) 認定課程修了者に係る修士の学位授与の審査について
- (3) 教育の実施状況等の審査の付託について
(短期大学・高等専門学校の認定専攻科分)
- (4) 教育の実施状況等の審査の付託について
(各省庁大学校分)
- (5) 平成10年度教育の実施状況等の審査につ

いて

(6) その他

□専門委員会

1. 平成9年度4月期の短期大学・高等専門学校卒業生等からの学士の学位授与申請及び認定課程修了者からの修士の学位授与申請を受けて、審査会の付託により、関係の専門委員会・部会が開催され、学士については、申請者の修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を、修士については、論文審査及び試験（口頭試問）を実施しました。

この他、教育の実施状況等の審査を含め、5月から7月にかけて以下のとおり専門委員会・部会が開催されました。

文学・神学専門委員会	
（英語・英米文学部会）	1回
（独語・独文学部会）	2回
（歴史学部会）	1回
（心理学部会）	1回
（宗教学部会）	1回
教育学専門委員会	1回
社会学専門委員会	
（社会学部会）	1回
（社会福祉学部会）	1回
教養・学芸専門委員会	1回
法学・政治学専門委員会	1回
経済学・商学・経営学専門委員会	1回
理学専門委員会	
（数学・情報系部会）	1回
（物理学・地学系部会）	3回
医学・薬学専門委員会	
（医学部会）	1回
看護学・保健衛生学・鍼灸学専門委員会	
（看護学部会）	2回
（検査技術科学部会）	1回
（放射線技術科学部会）	1回
（理学・作業療法学部会）	1回
（鍼灸学部会）	1回
家政学・栄養学専門委員会	
（家政学部会）	2回
（栄養学部会）	2回
工学・芸術工学専門委員会	
（機械工学部会）	8回
（電気電子工学部会）	9回
（情報工学部会）	5回
（応用化学部会）	3回
（材料工学部会）	2回
（土木工学部会）	2回
（建築学部会）	4回
（応用物理学部会）	3回
（航空工学部会）	3回
（造形工学・芸術工学部会）	2回
（福祉工学部会）	3回
水産学専門委員会	3回

芸術学専門委員会	
（音楽部会）	1回
（美術部会）	1回
体育学専門委員会	1回
商船学・海上保安専門委員会	1回

2. また、平成9年10月期の短期大学・高等専門学校卒業生等からの学士の学位授与申請、認定課程修了者からの博士の学位授与申請及び短期大学・高等専門学校の専攻科の平成10年度認定申出等を受けて、審査会の付託により、関係の専門委員会・部会を11～1月にかけて開催する予定です。

○委員の交代

□評議員

学位授与機構の事業計画及び管理運営に関する重要事項について機構長に助言する評議員会の評議員18人のうち17人の任期満了に伴い、4人の方々が退任され、新たに5人の方々が評議員に就任されました。

新たに就任された委員の任期は、平成9年7月31日から平成11年7月30日までの2年間となっています。

・退任

平成9年7月30日任期満了

金 森 順次郎 大阪大学長

（平成5年7月31日～平成9年7月30日）

平 紗 多賀男 大阪府立大学長

（平成7年7月31日～平成9年7月30日）

武 藤 輝 一 新潟大学長

（平成5年7月31日～平成9年7月30日）

吉 川 弘 之 東京大学長

（平成5年7月31日～平成9年7月30日）

・評議員 19人（◎は会長、○は副会長）

相 賀 一 郎 大阪府立大学長（新任）

阿 部 謹 也 一橋大学長

阿 部 博 之 東北大学長（新任）

◎飯 島 宗 一 元名古屋大学長

石 川 忠 雄 前慶應義塾長

井 内 慶次郎 放送大学教育振興会会長

井 上 和 子 前神田外語大学長

井 村 裕 夫 京都大学長

橘 高 重 義 東京理科大学理事長

木村 孟 東京工業大学長
 小山 宙丸 早稲田大学教授(新任)
 菅野 卓雄 東洋大学長
 田中 健藏 元九州大学長
 戸田 修三 日本私学振興財団理事長
 鳥居 泰彦 慶應義塾長
 ○長倉 三郎 前総合研究大学院大学長
 蓮 實重彦 東京大学長(新任)
 人見 楠郎 昭和女子大学長
 丸山 工作 千葉大学長(新任)

(注) 役職等は就任時のもの

□運営委員

学位授与機構の事業の運営実施に関し、機構長の諮問に応じる運営委員会の運営委員の17人のうち14人の任期満了に伴い、4人の方々が退任され、新たに6人の方々が運営委員に就任されました。

新たに就任した方の任期は、平成9年7月22日から平成11年7月21日までの2年間となっています。

・退任

平成9年7月21日任期満了

岡本 包治 川村学園女子大学教授
 (平成3年7月22日～平成9年7月21日)

田村 茂 中央大学教授
 (平成3年7月22日～平成9年7月21日)

藤田 宏 明治大学教授
 (平成3年7月22日～平成9年7月21日)

山本 恒夫 筑波大学教授
 (平成3年7月22日～平成9年7月21日)

・運営委員 19人 (◎は会長、○は副会長)

麻生 誠 放送大学教授
 磯部 力 東京都立大学教授
 市川 昭午 国立学校財務センター教授
 (新任)

井上 祥平 東京理科大学教授(新任)

猪口 邦子 上智大学教授

馬越 徹 名古屋大学教授(新任)

及川 洪 学位授与機構教授

小野 旭 東京経済大学教授(新任)

兼松 顯 学位授与機構教授

喜多村 和之 国立教育研究所教育政策研究部長

黒羽 亮一 常磐大学教授

◎齋藤 安俊 学位授与機構教授

清水 康敬 東京工業大学教授
 ○示村 悦二郎 北陸先端科学技術大学院大学教授
 平 則夫 広南会理事長
 館 昭 学位授与機構教授
 益田 隆司 東京大学教授(新任)
 村上 陽一郎 国際基督教大学教授(新任)
 矢野 眞和 東京工業大学教授

□審査委員

学位授与の審査並びに大学以外の教育施設に置かれる課程の認定及び短期大学・高等専門学校専攻科の認定の審査を行う審査会の審査委員に平成9年8月1日に新たに5人の方々が就任されました。任期は、平成10年3月31日までとなっています。

・審査委員 19人 (◎は委員長、○は副委員長)

井上 祥平 東京理科大学教授

岩井 保 近畿大学教授

及川 洪 学位授与機構教授

落合 卓四郎 東京大学教授(新任)

小野 旭 東京経済大学教授

○兼松 顯 学位授与機構教授

黒羽 亮一 常磐大学教授

小島 操子 聖路加看護大学教授(新任)

小林 功 群馬大学教授

齋藤 安俊 学位授与機構教授

島田 淳子 お茶の水女子大学教授
 (新任)

高萩 保治 日本大学教授

館 昭 学位授与機構教授

田丸 徳善 大正大学教授

当麻 喜弘 東京電機大学教授

利光 功 玉川大学教授(新任)

野村 豊弘 学習院大学教授(新任)

矢崎 義雄 東京大学教授

◎和栗 雄太郎 福岡大学教授

○学習情報企画調査研究会の開催

高等教育段階の様々な学習機会とその内容、アクセスの方法等に関する情報の収集、整理及び提供の在り方等についての調査研究を行う学習情報企画調査研究会が、平成9年8月8日(金)に開催され、本年度の調査研究事項等が審議されました。

1. 大学における学習機会の情報提供について
2. その他

○「学位研究」第6号の発行

学位授与機構における調査研究の成果として、平成9年8月に「学位研究」第6号を刊行しました。内容は次のとおり。

○論文：

- ・アメリカの大学院組織 館 昭
- ・アイルランド共和国ダブリン大学トリニティ・カレッジにおける上級学位—補遺— 齋藤 安俊
- ・The Development and Significance of External Degrees in the United Kingdom: A Historian's View (イギリスにおける学外学位制度の発展とその意義—歴史家の視点から—) Roy LOWE (ロイ・ロウ)

○研究ノート・資料：

- ・リージェント大学の理念と現状 ポーラ・E・ペイノビッチ 森 利枝訳
- なお、大学、短期大学、高等専門学校等の関係機関に順次配布いたします。

○人事異動

(研究教育職員)

- ・併任
平成9年10月1日付
審査研究部教授 清水 康 敬
(東京工業大学大学院社会理工学研究科教授)
- ・昇任
平成9年10月1日付
審査研究部助教授 橋 本 鉦 市
(前東京大学大学院教育学研究科助手)

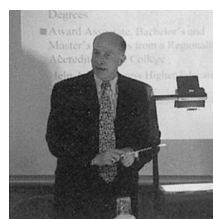
科学研究費(国際学術研究)研究会を開催

—アメリカ・イギリスより講師を迎えて—

森 利 枝 (審査研究部助手)

本年度、学位授与機構が推進している科学研究費(国際学術研究)「英米における学外学位制度の仕組み、発展要因及び将来展望に関する比較的、実証的研究」においては、プロジェクトの一環としてアメリカ、イギリスよりそれぞれ1名の実務担当者・研究者を招聘して研究・講演会をもった。

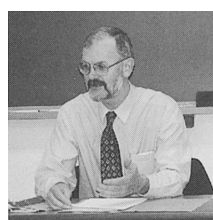
ジェリー・アイス博士



アイス博士は、トーマス・エジソン州立大学の学務担当副学長である。同大学はリージェント大学、チャーター・オーク州立大学とともに、学生にレジデンシーを課さずに評価によって学位を与えるアメリカの3大学のうちの1校であり、本研究プロジェクトでの事例研究の対象となっている。

4月10日(木)にセミナープラザすずかけ台で行われたアイス博士の講演「成人学生のためのヴァーチャル・ユニバーシティ25年の歴史」を中心とした研究会では、1972年以来1996年度までに14,000人の成人学生に学位を授与し、現在も8,500人を超える登録者を擁する同大学の現状が詳しく紹介され、その後質疑応答、意見交換が行われた。

ロイ・ロウ博士



イギリスのウェールズ大学スウォンジー校の教育学部長であり教育史の専門家であるロウ博士は、本科学研究費の共同研究者である。ロウ博士とその夫人を迎えての研究会は、5月9日(金)にセミナープラザすずかけ台で行われた。

「イギリスにおける学外学位制度の発展とその意義—歴史家の視点から—」と題された博士の講演では、ロンドン大学に始まったイギリスの学外学位制度が、社会の要請を背景としてCNA A、ポリテクニク、オープン・ユニバーシティなどの高等教育諸機関へと展開していった歴史が概観され、さらには今後の展望が示唆された。

なおこの講演の内容は、当機構の研究紀要「学位研究」第6号に収められている。

す ず か け 散 策

「新任の御挨拶」

学位授与機構 審査研究部助教授

橋 本 鉦 市

このたび、10月1日付をもって、審査研究部の助教授に着任いたしました。さっそく、広報委員会の方から、「御挨拶」をとのこと。これまでは「読む」ばかりの立場でしたから、何を書いてよいやら考えあぐねてしまいますが、僣越ながら、自己紹介の意味も含め、これまでの研究の歩みを簡単にたどることと、その責をふさがせて頂きたいと思えます。

生まれは名古屋。いきすぎた放任主義で鳴らす高校を終え、日本3大「私塾」の一つと自称する某予備校にお世話になった末、田舎面をひっさげて上京。どういう因果か、大学の学生寮に住み込むこととなり、ジャラジャラと麻雀牌のかちあう音を子守歌に、放埒な学生時代が始まりました。その一方で、ブルース・リーに憧れて空手のまねごとをしていた中・高時代の粗暴な顔を巧みに隠しつつ、地域のボランティア活動にも参加。次第に、子供や青少年と社会との関係について、足りない頭を巡らせるようにもなりました。そして、大した心構えもなく、教育学部の教育社会学なるコースに進学。おかげで社会学理論の勉強やら中学生を対象とした調査実習やらで、それまでの生活が一変してしまいました。4年生時には、人並みに就職活動も経験。しかしその頃の流行だったP・アリエスよろしく日本の「子供観」に関する卒業論文にとりかかり始める頃から、「研究する人生」に突然目覚め、何とか大学院にもぐり込むことに成功しました。

修士論文は、「旧制高校」での教養主義教育の内実と限界を、他の欧米諸国との比較において、歴史社会的に考察（したつもり）。少なくとも、「比較」と「歴史」という社会的な方法論が自分の身の丈にあっていくことが確認できました。博士課程では「専門職」や「専門教育」に関心が移り、医師をケースとしてその「資格」と「学歴」を中心とした養成システムを主に分析、職業集団と大学教育の関連について考察を深めました。学振のP.D.を経て、東京大学の大学総合教育研究センター（当時は本部調査室）の助手となった後は、大学院における学位（とくに博士号）の調査を担当、大学の教育・研究・管理運営・社会サービスなど様々な側面を、大学の内側から垣間見ることとなり、とくに学士課程教育・専門知識・職業集団という三者の関係を再考するいい機会となりました。

今後は、これまでの知見をベースに、学位研究を中心とした高等教育の社会学を目指す所存でおります。学位が一定の教育課程修了免状であり、職業と教育とを繋ぐ結節点であることを考えれば、その研究はクリティカルな分析視点を提供できると思っております。

以上、果たして「御挨拶」になっているのか、いささか心もとありません。また、まだ右も左もわからぬ新参者ゆえ、しばらくの間は何かとちぐはぐな言動が目につくことと思いますが、なにとぞよろしく御指導・御教示お願いいたします。

はしもと・こういち 昭和40年生
東京大学大学院教育学研究科助手、平成9年10月
から現職
専門：教育社会学・高等教育論

編集後記

◇ 「学位授与機構ニュース」第12号をお届けします。

◇ 平成9年度4月期の短期大学・高等専門学校卒業生への学士の学位授与では、新たな専攻分野・専攻の区分も加わり、前年同期と比べて申請者数約1.3倍の281人、授与者数約1.45倍の254人でした。

また、10月7日付で締め切られた10月期申請分は、認定専攻科修了見込み者も申請できることから、申請者数は4月期よりも当然多くなり、前年同期（777人）の約1.4倍増の1,130人になりました。

審査に当たられる専門委員の先生方にはお忙しいところ御苦勞をおかけいたしますが、よろしくお願いたします。

◇ 研究紀要「学位研究」第6号を刊行し、本ニュースとともに関係各機関に配布いたしました。

◇ “すずかけ散策”では、10月1日付で本機構の助教授として就任された橋本先生に新任の挨拶をいただきました。大学現場での大学院における学位の調査・研究で活躍されてこられた橋本先生をお迎えすることになり、より一層充実した研究紀要「学位研究」の刊行に向けて心強い味方を得た感じでした。

◇ トーマス・エジソン州立大学のジェリー・アイズ博士とウェールズ大学のロイ・ロウ博士をお迎えして開催した研究会の紹介をさせていただきました。

◇ 機構の周辺もアケビ、栗の実が熟れ地面に落ちて晩秋の気配が濃くなり、朝晩も冷え込むようになってきました。

今後とも皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げます。
(J. N.)

編集 学位授与機構広報委員会
〒226 神奈川県横浜市緑区
長津田町4259番地
電話 045-922-6441
Fax. 045-923-0258
印刷 (有) 創文社
〒141 東京都品川区西五反田1-4-1
電話 03-3491-8321